

【小学部】
ねこのゆい 野村ゆあ（6 年）

5月28日に家にねこが来ました。里親ほ
集からもらいました。家に来たときは、元気
そうにたったーって走っていました。
名前は、「ゆい」に決まりました。なぜ「ゆい」
になったかという、お母さんはこどもが3
人うまれたら、「ゆあ」「ゆい」「ゆう」にする

《プロジェクト紹介》
人形の台車
はんな（4年）

どうして作ったかという、たくちゃん
が人がのれる台車を作っていたからです。
人がのれるって
うのはかんけいな
いけど作りました。
作り方をせつめい
します。
まず、家にある
人形の大きさがち
がうので、その大
きさでのせるぶぶ
んを作ります。長
方形に切ります。
ふとくて切りやす



【中学部】
《日本語共同》
人生って何？～人生で大切なことって何だろう～

日本語共同で、「人生について」を考え
てみました。人生についてどうい
うことが大切だと思ふかを考えた後、自分の
今までの人生とこれからの人生の図を描
きながら、自分を見つめていきました。
その中で自分のつらい過去を見つめたり、
自分の心の底にある思いを表現したり
しました。そして他の人たちと、人生の図
を共有する時間を持ちました。

***** 人生で大切にしたいこと *****
『個性（趣味）・努力・愛・自由・楽しみ・人を大切にする』… 加藤瑠唯
『自由・好奇心・自分・個性・平和・楽しむ心・人・他人に左右されないこと・自分
で決めること・趣味・夢・今・家族・友達・笑う・ポジティブ精神・思いやり・チャ
レンジ・好きなこと・素直な心』… 辻岡素直
『自分・自由・楽しみ・人』… ハリス恵音

《自由作文》
いのちってなに？
さよ（1年）
いのちのいろは、あかだとおもう。
しんそうとおなじだから。

《プロジェクト紹介》
スカート
まゆ（1年）

どうしてつくったかという、いままで
スカートをつくったことがなかったから。
まずざいりょうをせつめいします。あ
いろん、ゴム、きれ、
みしん、はりです。
では、つくりか
たのせつめいを
します。まずきれ
をえらんではかっ
て、みしんでぬっ
てあいろんをかけ
てゴムをとおし
てできあがりです。
むすかしかったとこ
ろはぬうところです。



NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を！

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、
ご支援いただける方は、次のいずれかの方法
でご協力願います。
◆正会員になる（年度会費 3,000 円）
◆賛助会員になる（年度会費 3,000 円）
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する
振込先：加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
<郵便払込> 0 0 9 8 0 - 7 - 2 3 2 4 0 3
<郵便口座振込> 1 4 0 2 0 - 6 8 1 9 0 7 2 1
<銀行振込>
ゆうちょ銀行四〇八支店（普）6 8 1 9 0 7 2
池田泉州銀行小野原支店（普）7 2 2 5 8
※会員になられる方には入会申込書と払込用
紙をお送りしますので、下記にご連絡くださ
い。学園ホームページからも申込みます。
TEL&FAX：072-735-7676
e-mail：info@kodomonono-mori.com
U R L：http://kodomonono-mori.com

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 4 月～8 月
アフリカで学んだフレネ教育
世界中の、フレネ教育を実践している教
師が 2 年に 1 度集い、交流をするイベン
ト RIDEF（リデフ）に、こどもの森から 3
名参加しました。西アフリカのベナンで
行われ、25 ヶ国から参加者が集まりまし
た。10 日間のプログラムの中で、毎日の
ように開催されるロングワークショップ
や日替わりのショートワークショップに
参加したり、日本のワークショップを開
催したりしました。実践を学ぶよりも交
流を深めることが大事にされていて、世



親と子の土曜クラス『そら』
ひろがる空の下。今年 6 月、3 歳から就
学前の子どもと親の土曜クラス『そら』が
産声をあげました。「こどもの時間」で
は、生活体験を自分の中に注ぎ込めるよ
うに、手作りの家具と天然素材のおもちゃに
囲まれての自由遊びやにじみ絵、料理をし
ています。また、みんなで一緒に散歩した
り、身近な自然と触れ合ったりする中で、
社会性が育まれること、新しい世界を発見
することを大切にしています。



一方「大人の時間」では、子育てハッピー
アドバイザーによる「子育てカフェ」や講
師による“手仕事”を通して、ほんと私に
なれる時間を楽しんでいます。
親と子が同じ空間を共有する「親子の
時間」では、美味しい味噌汁とおにぎり
をいただき、日本の昔話やグリム童話を物

界中の方と交流できる素敵な機会でした。
今後アフリカやヨーロッパの学校と学校
間通信ができるかもしれません。フレネ教
師とは、子どもたちの興味関心を大切にし、
子どもがやりたいことを尊重しながら主体
的に学習ができるようにする教師です。そ
んな実践をしている世界中の教師たちに出
会い、“Freinet Movement”という「学校運動」
についても考えました。学習の主体である子
どもの権利がもっと尊重される社会になる
よう、これからも問い続け活動していきます。
（佐野）



語ることで、ファンタジーの世界に浸って
います。子どもにとって豊かな生活の基盤
をつくる幼児期に『そら』が少しでも役に
立ちたいと願っています。活動内容をプロ
グで紹介しています。ぜひご覧ください。
（西川）

大人も子どもも輝くクラスづくり
～本当の心の声を聴く～
ファシリテーターキャンプ
8 月 20、21 日に、1 泊 2 日のファシリ
テーターキャンプを学園で開催しました。「ど
んな学びを作りたいんだろう？」子どもた
ちを大切にすることと同じように、「大人」
自身も、心の声に耳を傾け、本当の気持ち
を大切にすることができる学び場づくりを
一緒に探究したい！という思いから生まれ
た今回のキャンプ。教員、学生、保護者など、



遠くは熊本や愛知からも 10 名の方々に参
加いただきました。こどもの森で大切に
している哲学をお伝えした後に、能動的な聴
き方・伝え方のワークショップ、NVC（非
暴力コミュニケーション）のエッセンスを
取り入れながら自分が抱えている希望や怖
れを感じるプログラムをしました。
2 日間を通して、自分の気持ちをじっく
り見つめる場面や、参加者同士が語りあ
う場面、いろんなシーンがありました。そん
なキャンプが終わりを迎えるころのみなさ
んの晴れやかな表情が印象的でした。今回
のキャンプが参加者一人一人の、ご自身
の心の声を大切に思うきっかけ作りの一
つになっていればいいなと感じています。
（高原）

こどもの森 ワイワイガヤガヤ
感謝の集い 開催！



今回のイベントの趣旨は、会員相互の感謝・
交流・親睦を図るとともに、「こどもの
森学園のこれまでとこれから」を考えよう
というものでした。
まず「会員ハッピータイム」と称してこ
どもの森学園に関わるきっかけや今後への
期待などをシェアしました。続いて卒業生
の保護者の方と卒業生によるパネルトーク。
保護者の方からは、「いまほど立派な校舎
もなく…」と往時を振り返られたのち、「ど
んなときも子どもの考えを尊重して、親が
敢えて『転ばぬ先の杖』にならない」「自
分も子どもと共に成長した」といったお話
を頂きました。また卒業生も、「プロジェ
クトが楽しかった」「今も学びたくて学ん
でいる」「コミュニティづくりや農業をや
りたい」と自分の考えを自分の言葉で伝え
てくれました。会場内には、当日ご参加で
きなかった方々も含め、学園に寄せる想い
が掲示され、たくさんの方に支えられてい
ることを実感しました。（道）

雑感

生活の中での学び

今年の夏に、アフリカのベナンで RIDEF(フレネ教育者国際集会)に参加しました。その中で、毎日午前中に行われていた、「フィールドトリップから学ぶ」と題されたクラスに入りました。

クラスの最初の時間には、何も考えず外にでていく、ということが重要な『目的のない外出』と呼ばれていた散歩にできました。外出の間に目にとまったものは、写真を撮ったり、絵に描いたりして、記録をしていきます。ある程度、集まると部屋にもどり、どんなものを発見したかを確認し合い、そして、次の時間の『目的のある外出』を行うためのテーマを決めます。

自分たちのグループで取り上げたのは、巨大なイモムシがたくさんぶらさがった木とそのせいで葉が一枚もなくなった木。もう一つが、敷地内のトウモロコシ畑で働く少年。この2つでした。そ

の2つからは、虫と木のつながりはどんなものだろう、気持ち悪がられる対象の虫だけど、どんな役割を果たしているのか、また、少年はなぜここで働いているのか、ベナンの暮らしとどう関わっているのか、など、いくつかの疑問ができました。目的のある外出の際には少年にインタビューをしました。最後に、それを模造紙にまとめて、発表をして、終わりました。

今回のクラスで、はじめから準備されたものでなくても、学びは生まれてくるということを実感しました。また、身の周りの環境の中からも学びは広がり、ちょっとした疑問から世界は広がっていくんじゃないかと感じました。そして、周りのおとなは、子どものどんな小さなことでも、その子がもった関心や興味のあることに気付く、くみ取ってあげることが大切なのではないのかなあと思いました。(藤丸)

こんな学校に出会いたかった！！

♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2016・2017年度の小学部・中学部の生徒募集しています！ 自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？



募集期間：

新1年生：9月1日～10月3日

現小学生・中学生：随時募集

※定員に達し次第締め切ります。

募集人数：

小学部：新1年生7名

2年生、4年生(男子)5年生(女子)

各学年 若干名

中学部：1年生 若干名

場 所：箕面市小野原西6丁目15-31

見 学 日：月・水・木

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。

TEL&FAX：072-735-7676

メール：info@kodomonono-mori.com

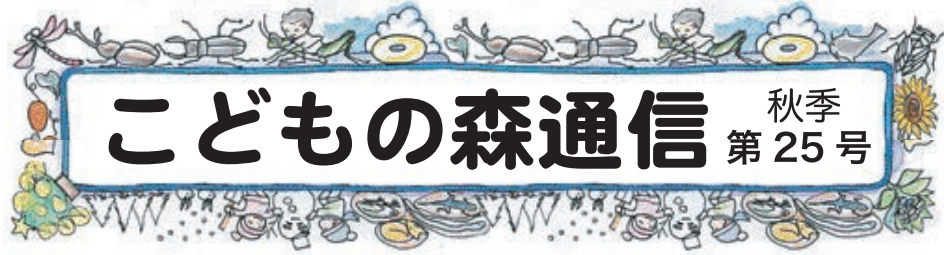


アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分。
：小野原バス停から徒歩20分。
：小野原南バス停から徒歩5分。

《編集後記》

暑い夏もひと息つき、子ども達はどんな夏休みを過ごしたのでしょうか。みんなそれぞれの経験をして一回り大きくなったことだと思います。

スタッフの方々も海外で学んだり、新しい取り組みをしたりと日々前進しています。今後ともよろしく願い致します。(日置)



100年生きる庭づくり

今学期のテーマ&ワールドオリエンテーションは、「100年生きる庭づくり」を軸に、小中合同で学習を進めてきました。

子どもたちの興味関心によっていくつかのグループに分かれ、どんな庭にしたいか、持続可能な庭にするためにどうしたらよいか、そのためには具体的には何が必要かなどを話し合いました。そして校庭にはバラのアーチ、鳥を呼ぶエサ台、ハンモックにコンポスト、3階にはグリーンカーテン、それぞれが思い描く庭づくりに取り組みました。



6月28日の学習発表会には、外部からもたくさんの方がこられました。子どもたちは担当した庭づくりのプレゼンテーションやレポート展示、校庭案内を行いました。

食物連鎖について調べたことを発表した小学生、社会に対して訴えかけるような内容のプレゼンテーションをした中学生、学習を進めていく中で人と話し合いながら協力することを学んだ子どもたちそれぞれに感じた学びがありました。(福田)

異年齢の小集団 ファミリーグループ

今年度から始まったファミリーグループ制。小、中全員で縦割りの5、6人のグループを作り、必要に応じてファミリーグループで活動することになりました。

これのよさは何といっても子ども同士の学び合いです。小さな子は大きい子にわからないことを聞いたり甘えることがで

き、大きな子は年下の子の面倒を見てあげています。例えば、ファミリーグループで助け合ってそうじをしたり、全校集会の場では話の進行が飲み込めない小さな子に、大きな子がサポートしてあげたりしています。異年齢の小さな集団は、まるできょうだいのようなようです。

生徒数が一気に増えた今年度ですが、ファミリーグループを作ることで、こどもの森の持ち味であるアットホームな雰囲気は損なわれることなく続いています。とはいえ初めての試みなため、1学期間取り組んでみて見えてきた課題もあります。これからも子どもたちと話し合っ

体育祭が開催されました！

雨予報で心配された体育祭の日でしたが、実行委員の1年生が作ってくれた“てるてる坊主”のおかげで天気は晴天に！



準備運動をかねてのマラソンから始め(けっこうハードでした)、周りの応援の人の力も借りる「借り物リレー」、パンをとる姿がなんとも愛らしい「パン食い競争」、そして、子どもも大人も顔を真っ白にしながら走る「アメ食い競争」。あっという間に午前の種目が終わって30分の休憩へ。

休みの後は、いくつかの障害物を乗り越え進んでいく「障害物リレー」、続く「玉入れ」では、「みんなで楽しんだから勝ち負けなし！」という中学生の一声で勝敗をつけずに終了！最後のリレーは、家族も友だちも参加して大いに盛り上がりました。

今年は、前日のリハーサルでは最

発行日：2016年9月15日

発行者：認定NPO法人 箕面こどもの森学園

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

tel&fax 072-735-7676

e-mail info@kodomonono-mori.com

URL http://kodomonono-mori.com

ユネスコスクール

Member of

United Nations

Educational, Scientific and

Cultural Organization

UNESCO

Associated

Schools

後の種目までの確認ができず少々不安がありましたが、いざ本番が始まると、子どもたちはそれぞれの種目にしっかりと向き合っており、子どもも大人もみんな楽しんで体育祭になりました。(藤丸)

アイディアいっぱい、 色とりどりの夏祭り

「もう間に合わない」、「延期した方がいい」、「でもやっぱり7月にやりたい」。準備が遅れた今年の夏祭り、緊急の話し合いを何度も重ねました。1週間前、「とにかくやろう!」に決定。それから子どもたちは怒涛のような追い上げを見せました。

いよいよ迎えた当日。受付でチケットを買ってお店を回って行きます。一発一発が真剣勝負の射的。行列のできる「たこせん」。予想以上の怖さにドキリの「おぼけ屋敷」。種類豊富な「おかし屋さん」。実況とBGMを口頭でしてくれる「もぐらたたき」。苦勞して膨らませた夏の風物詩「ヨーヨーつり」。ワークショップもできる「アクセサリーショップ」。謎解きが難しい中学生による「おぼけ脱出ゲーム」。はり巡らされた糸に触れないよう床にまかれたコインを集める「スパイダーマンゲーム」。新しい発想がいっぱいの各お店にわくわく。

祭りの後、お母さん手作りのカレーを食べながら有志のダンス発表を楽しみました。子どもたちの爆発的なエネルギーに驚いた忘れられない夏になりました。(中尾)



各種イベントのお知らせ(9月～12月)

おさなご発見U6ひろば

見つめませんか ニコニコ母さん・父さんでいるためにできることを。「おさなご発見U6ひろば」は、6歳以下の子どもがもつ「よく育ちたい」という力を、子育てに関わるみなさんを見つけ・育む、子育てイベントです。

【実施日】9月22日(木・祝)10:00～12:00

【場所】箕面こどもの森学園

【対象】乳幼児～小学生の親子

【参加費】500円/1家族

【定員】30組

【共催】豊中友の会 新千里方面

(協賛：公益財団法人 全国友の会振興財団)

口ハスin こどもの森

～よってみよう やってみよう

感じてみよう収穫祭～

今年度の口ハスは10月開催です！

ぜひお越しください！入場無料。

【開催日】10月15日(土)10:30～15:00

【場所】箕面こどもの森学園

親と子の土曜クラス「そら」

【開催日】10/8、10/22、11/5、11/19、12/10

6月からスタートした、土曜クラス「そら」回数を重ねることに子どもたちもお互いの名前を呼び合い、大人も和気あいあいとし

た雰囲気です。一度遊びに来ませんか？随時体験受付中です。
【対象】3歳～就学前のお子さんとその親
【日時】月2回(土曜日)9:00～13:30
※12月は1回のみ

【内容】

子ども…室内自由遊び、にじみ絵、おやつ

作り、散歩、おはなしなど

おとな…子育てカフェ、手仕事の会

【場所】箕面こどもの森学園

【申込】メール、電話で箕面こどもの森学園まで

子育てカフェ

「子育てハッピーアドバイス」

自己肯定感を育むために大切なことをお伝えします。日頃の子育ての悩みを共有しながらお話ししましょう。

【実施日】10/19(水)、11/16(水)、

12/14(水)10:30～12:00

【場所】箕面こどもの森学園

【定員】20名

【参加費】500円

【講師】坂本田鶴子、守安あゆみ(認定子

育てハッピーアドバイザー)

教育カフェマラソン

【第46回】10月21日(金)村島和代さん(助産師)

【申込】メール、電話で箕面こどもの森学園まで